

Special Interview

TAKAYO KOIDE

お茶の水女子大学教育学部人間社会学科合格

issue

04



ひとつひとつのプロセスは無駄になることなく、
どこかで生かされるときがくる。

写真・構成・文=阿久津伊吹

お茶の水女子大学教育学部人間社会学科への合格おめでとうございます。編入試験で合格されたそうですが、具体的にどのような試験内容ですか。ありがとうございます！編入試験は、一般入試より推薦入試と似ている点が多く、小論文、英語、面接が試験科目になります。ただ編入試験は、大学で学ぶ専門科目に関する内容が試験で出題されるため、専門的知識をたくさん蓄えておかななくてはなりません。私の場合、教育学部を志望していたので教育学についてたくさん勉強しました。

編入試験で一番苦労した点など

あったら教えてください。

私は面接対策が一番苦労しました。面接では「なぜこの大学を選んだのか」、そして編入試験ですから「なぜ今在籍している大学から志望している大学に編入したいのか」などを試験官の先生に説明しなくてはいけないのですが、自分の考えを相手に伝えることの難しさを痛感しました。教育学は別にお茶の水女子大学でなくても、他の大学で学ぶことができます。しかし、面接ではお茶の水女子大学だからこそ教育学を学べる意義を説明しなくてはなりませんでした。お茶の水女子大学は日本でもジェンダー問題に一番重きを置いている大学なんです。ですので、教育をジェンダーという軸から理解を深められるのはお茶の水女子大学だからできることです。このように志望理由を

論理的に説明する練習をたくさんしました。

なぜ編入しようと思われたんですか。実は今通っている愛知県内にある大学は一年間の浪人生活を経て入学しました。もともと私はその大学の附属高校に通っていたので、本来なら自動的に大学に進学することもできます。

しかし、関東圏の大学に行くことが夢で、現役・浪人時代とそれを目標に勉強していたのですが、思うような結果が出ませんでした。それで、両親にこれ以上迷惑をかけるわけにもいかなく、今の大学に入学したんです。高校時代の友達は1年先に入学しており、私は浪人したので1年遅れての入学となりました。友達は特に勉強することなく大学に進学したわけですから、必死に受験勉強をしてきた自分が惨めに思え、大学の入学式で涙が止まらなかったのを覚えています。私が今まで勉強に費やしてきた時間が無駄かのように思えたんです。でも同時にどうしても夢を諦められない自分がいて、大学に通いながら仮面浪人という形で受験をしようと決断しました。

ちなみに、KEEPを知ったきっかけを教えてください。

もともと兄が受験生だったときに阿久津先生にお世話になっていたこともあり、私も高校1年生の頃からお世話に

なっています。当時は受験の「受」の字も頭になく、遊んでばかりだったので、学校の成績も下から2番目でした笑。

何を勉強すればいいのかわからなかったですし、何が分からないのかさえ分からなかった状態でした。阿久津先生にはまず英検3級をとるという目標を設定してもらい、その目標に向けてカリキュラムを作成していただきました。最初は英検3級なんか受かるはずがないと思っていたのですが、先生に言われる通り勉強をしていたら、合格しちやつたんです笑。合格したこと下次の目標ができ、勉強へのモチベーションも高まりました。

KEEPでは編入試験に向けてどんな対策してもらいましたか。

阿久津先生には英検やTOEICなどの資格試験を中心に英語力を強化していただきました。資格試験が編入試験とあまり関係ないように思われるかもしれませんが、編入試験の応募をする際にTOEICの点数を提出しなくてはいけなく、それが合否に大きく影響してきます。お茶の水女子大学が定めるボーダーラインとなるTOEICの点数があるのですが、先生が辛抱強く指導してくださってのおかげで、お茶の水女子大学が求めるボーダーラインに届くまでに英語力がつきました。最初英検3級さえも取れなかった私にすれば大きな成長です笑。

今回私がお茶の水女子大学に合格できたのも先生のおかげです。

最後に、受験生に何か一言いただけますか。

受験を通して学んだことは、「プロセスは無駄にならない」ということです。人は結果しか見てくれませんが、実はプロセスが重要で、一見無駄に見えるようなことが、何らかの形で生かされることを小さい頃から経験してきました。受験で経験した「無駄」と思えることも、今後の人生で生かされるのだと思っています。

また、受験中に「なんで自分だけ？」って思うことがたくさんありました。私はすごい勉強しているのに、あまり勉強してなくても志望校に合格し

ている友達もいて「なんで自分だけ？」って思ってたんです。でも友達と实际話をしてみると、みんな私とは違う悩みを抱えていて苦労しているんだなって気づきました。人生において、「なんで？」って思える時や、

「無駄」のように思えるようなこともあるけど、人生いつか良いこともあるとポジティブに捉えながら受験勉強に取り組んできました。だからみなさんが経験している疑問や悩みも人からは理解されないかもしれないけど、いつかどこかで生かされてくる時がくるし、人生谷ばかりではないと思います。みなさんも自分の夢に向かって頑張ってください。



何事にも前向きな小出さんの思いに励まされました。